



農作業事故防止の強化に向けた取組事例

富山県

にゅうぜん

女性農業機械士を中心とした農作業安全対策の取組(入善町)

取組の概要

町の女性農業機械士会が中心となって、女性の視点によるきめ細かな農作業安全対策に取組み、地域全体に農作業安全に対する高い意識が波及したことで、地域内の事故が大幅に低減。

取組みの背景・内容

平成4年に農業普及指導センターの指導のもと、「かあちゃんだからできる農作業安全」を合言葉に入善町女性農業機械士会「アムロン」を発足。(現会員数21名。全員が認定農業者あるいは農業法人経営者の妻で農業機械士の資格を所有)
女性の視点から、以下のようなきめ細かい安全対策に取り組んでいる。なお、取組みにあたっては農作業安全に対する農業者の意識の重要性や地域全体への波及ということを念頭において実施している。

ひやり体験の共有

ちょっとした不注意が事故につながるとの認識のもと日頃から会員同士でちょっとしたヒヤリ体験を取り上げた”ヒヤリ・ハット”の情報交換を行うとともに、研修等により、問題点の理解・改善に取り組んでいる。

「自ら学ぶ」安全操作研修

- ・農業機械の始業・終業点検、作業機械の安全な脱着等に係る実践講習
- ・とっさの時の機械の停止や転倒角度についての体験学習
- ・消防署の指導のもと事故発生時の応急処置方法についての学習 等を実施

危険箇所マップの作成

危険箇所チェックリスト表に基づき詳細な調査を行い、その結果を踏まえた危険箇所マップを作成の上、自治会・町等に対し改善を要望。この結果、主要道路への「農耕車優先」「農耕車に注意」等の看板の設置、ガードレールの整備等が徐々に進展。

その他

- ・行政と一体となった農作業安全キャラバンへの積極的な参画
- ・女性ユーザーに優しい農業機械が開発・改良されるようメーカーに改善提案 等

取組みによる成果

農作業安全に対する認識が高まり、家族から地域、地域から町全体へと波及。具体的な成果として、県内の農作業事故が毎年80件程度と横ばいで推移する中、平成元年まではその2割程度を占めていた入善町における事故が、アムロン発足の平成4年以降は0件の年もあるなど、県全体に占める割合が5%程度と、大幅に減少した。

内容照会連絡先

新川農業普及指導センター地域課 TEL0765-52-0094